

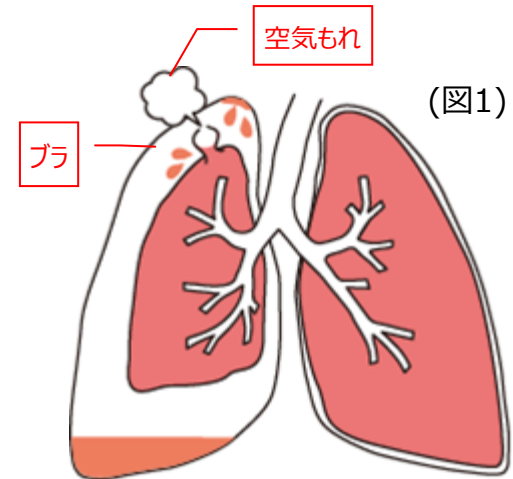
気胸センターのご案内

気胸センターを開設いたしました！

当院の方針として、「救急車を断らない」、「他院からの紹介を断らない」をモットーに日々診療を行ってまいりました。そのような背景から、「突然の胸痛」で発症する「気胸」の患者さまも多数受け入れ(年間約80名)、治療を行っております。その経験を基礎にさらに気胸の診療体制を充実すべく、この度気胸センターを開設しました。気胸は良性疾患であり、数日の治療で改善することも珍しくありません。しかし、状況によっては、命に関わる状況となることや治療に難渋し長期の入院加療を要する場合があります。当科で治療を受けられる患者さまに少しでも質の高い治療を提供できるように、日々努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

気胸とはどのような病気？

胸壁と肺の間を胸腔と言います。この腔に空気が入ることを気胸と言います。気胸になると、肺がつぶれてしまったり、横隔膜や胸壁との連動がなくなるため、呼吸が辛くなることがあります。(図1)



気胸の分類

自然気胸	普段健康な方に誘因なく突然生じる気胸
続発性気胸	肺気腫など肺疾患に引き続いて発症する気胸
外傷性気胸	胸部打撲などにより生じた気胸
その他	月経随伴性気胸など

■ 自然気胸の原因は？

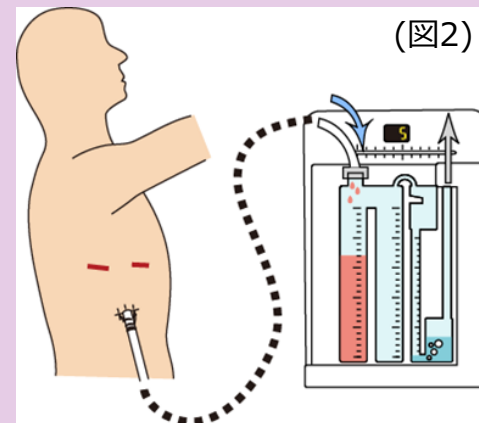
肺の表面に弱い部分=ブラが存在し、この部分が破裂することにより、肺から空気もれ、気胸を発症します。

■ 自然気胸の治療について

ドレーン(管)を胸腔に入れることで、溜まった空気を抜きます。すると肺が拡張して呼吸状態が改善します。この状態で経過をみていくと、けがが治るように肺の孔が自然にふさがり、気胸が治癒します。その後、ドレーン(管)を抜去します。(図2)

■ 自然気胸の特徴=再発しやすい

上記のように治療を行っても、肺の弱い部分(=ブラ)は残ったままであるため、40~50%の方が再度気胸になると言われています。再発した方は、約60%という高い確率で3回目の気胸になるとも言われています。



非常に有効な治療法である内視鏡手術(腹腔鏡手術)について

自然気胸に対する手術は、通常、内視鏡で行われます。

当科では、脇に数mm~1cm程度の小さな穴を1~3個あけて、空気漏れの原因となっている肺の弱い部分(=ブラ)を小さく切除し、何種類かある再発予防の工夫を追加しています。通常は術後2~3日後に退院します。

診療時間	火曜・土曜 8:30~12:00 / 木曜 8:30~12:00、14:00~17:00
お問い合わせ先	呼吸器外科外来 TEL: 03-3967-1181(代表)

※緊急の場合は下記までご連絡ください。

月曜~金曜 8:00~19:00 / 土曜 8:00~17:30...地域医療連携室 TEL:03-3967-4275

上記時間以外...救急外来 TEL:03-3967-1181